



すすんで学ぶ子  
心豊かな子  
たくましい子

# 中宮

令和6年3月22日  
第663号  
枚方市立中宮小学校  
校長 池原義人

## 3学期終了、令和6年度への最終準備期間です

### 卒業おめでとう

3月18日(月)卒業式を執り行い、85名の卒業生が中宮小を巣立っていきました。本年度は、5年ぶりに在校生代表の5年生も出席する形で実施しました。

以下は、卒業アルバム掲載のために作成した6年生への文(抜粋)です。

#### 「大切だからこそ」

(前略)十二年前、六年生を担当していました。翌日に卒業式を控えた帰りの会、担任していた子達を叱りちらし、「さっさと帰れ!」と怒鳴ってしまったことがあります。卒業式前日と言えば、担任の先生と最後の別れを惜しみ、楽しく会話をしてさようならと下校していくのが普通なのでしょう。真逆の別れ方をして下校させてしまいました。

その子達は五年生からの持ち上がりで、二年続けて担任した学年のクラスでした。

(中略)

授業態度も素晴らしく、そして友達を大切に自慢の子ども達でした。ただ、最後の日の掃除だけができませんでした。二年間そうじの大切さを説き、率先垂範で指導してきたのに、その日は一生懸命に取り組んでいなかったのです。

そうなった理由がありました。保護者が担任への感謝の気持ちをと、担任プレゼントを準備するために、子ども達の写真撮影をしたりメッセージカードを書かせたりしていたからです。でも許さず怒りました。怒りではなく、大切な子ども達に大切なことを強く伝えたいからです。二年間の締めくくりが、これで終わるのかと思いながら一人で教室の窓ふきをしました。

翌日、その子達は、呼名への返事、作法、その所作で、心に残る感動の卒業式をくれました。最後まで叱ってよかったのだと、その姿で伝えてくれました。

叱られたら嫌われている、褒められたら好かれている。そんな単純なものではない愛情もあるのです。大切だから叱る、大切だから許さないこともあるのだと知ってほしいです。

あなたたちを大切に思う人は、時に厳しくそして高い要求をされることがあるでしょう。でもそれは、あなたたちを大切に思うからこそです。愛情をしっかり受け止めることが、今あなたたちができる最高のパフォーマンスだと思います。しっかり受け止めて卒業式に臨んでください。

卒業おめでとうございます。

### 在校生(1年生~5年生)も、卒業に向けて

夏休みの校長研修(講師:千代田区立麴町中学校・前校長の工藤勇一氏)にて、「**宿題は自律を失わせる象徴的なもの**」等を学んできたと紹介しました。(653号校長通信)

#### 【麴町中学校で話題になった取組】

●定期考査・**宿題の廃止**●固定担任制の廃止●服装・**頭髪指導の廃止**●数学での**一斉指導全廃**

これを受け、「宿題を廃止したら意欲的に学習するというのであれば、すぐにでも宿題を出さないようにします。小学校を卒業しても、九九が暗誦できない、住所が書けない、分数の計算が分からない等、大けがが待っているように思うのですが、どうでしょうか」と重ね、中宮小では宿題廃止等、麴町中の実践や校長研修での学びを活かす勇気がないと書きました。

そんな中、麴町中の現在に関する気になる記事(日本教育新聞:2024.3.11掲載)を見つけました。

(前略)昇降口の各所にごみが散乱し、生徒の靴がバラバラに置かれていたこと。教職員に尋ねると、昨年度までは、土足のまま教室で過ごす生徒までいたという。学校全体での集会では、生徒は整列せず、思い思いの場所でしゃべっているが、教職員はこうした姿を眺めながらも声を掛ける様子もなかったという話まで聞こえてきた。「**自律**」を優先するあまり、何をしてもよいという**感覚が根付いてしまったのだ**と感じた。

(中略)最大で25分のテストしか経験していないため50分のテストに耐えられず寝始める生徒がいる、45分授業を維持するために土曜日授業を行うものの生徒の2割以上が休むことがあるといった課題も見えた。テストで25分を過ぎると寝てしまうのは、実際に高校入試でも見られ、高校側から「試験中に寝る人を合格させるわけにはいかない」と告げられたそうだ。

この他にも麴町中現校長より、現在の麴町中の課題として、生徒の**学力2極化が激しいこと**、**学力低下傾向がはっきり見られること**、生徒の4割が**家庭で勉強しておらず学習計画も立てていないこと**、**不登校の生徒を生み出しやすいシステムになっていること**などが挙げられていました。

(日本教育新聞:2024.3.4掲載)

麴町中の実践は、工藤勇一校長当時、有効な方法であったことを証明する結果が出ていました。しかし、その当時の学校や生徒と、今のそれは同じではないのです。大切なことは、目の前にいる子どもをしっかり捉え、今何が必要なのかを見誤らないことだと思うのです。

家庭学習に大きな課題があると考え、宿題を継続していく中宮小においても、春休みは自主性に委ねる部分が大きいです。各学年だより(春休み号)を通じて、春休み中の学習について**下記**のように連絡をしています。この課題は、最低でもこれくらいの学習は実施・継続して欲しいというものです。ただし、これが大きな負担になっているようであれば要注意です。**終わってしまった学年の学力が、しっかり身につけていない**ということです。置き去りにした学習が多ければ多いほど、取り戻すのに大きな負担がかかります。しっかりお子さんの学習状況を捉え、ご支援をお願いします。

①読書(毎日10分目標) ②1年間の総復習(navima・ドリルプラネット等)